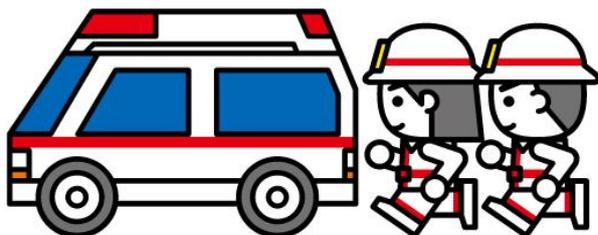


平成 23 年 8 月の熱中症による救急搬送の状況

消防庁では、平成 23 年 8 月の熱中症による全国の救急搬送の状況（確定値）を取りまとめたので、その概要を公表します。

【資料】

[平成 23 年 8 月の熱中症による救急搬送状況](#)



(連絡先)
消防庁救急企画室
担当：長谷川 伊藤 渡邊(俊)
電 話：03-5253-7529
FAX：03-5253-7539

平成23年8月の熱中症による救急搬送状況（確定値）の概要

平成23年8月中の熱中症による救急搬送状況について調査を行ったところ、その概要は以下のとおりでした。

1 気象

平成23年8月は、太平洋高気圧の勢力の変動が大きく、各地域とも暑い時期と涼しい時期があり、北・東日本では、上旬中頃から中旬中頃にかけては太平洋高気圧におおわれたため晴れて気温が高く、多くの地点で猛暑日となった一方、上旬はじめはオホーツク海高気圧の影響で低温になったほか、中旬終わりから下旬にかけては寒気や本州付近に停滞した前線の影響で高温の日はほとんどなく、気温の変動が大きくなりました。月平均気温は北日本で高いほかは、全国的に平年並みでした。

（気象庁「8月の天候」より）

（参考）

平成22年8月は、月を通して日本付近で太平洋高気圧の勢力が強く、東・西日本では、太平洋高気圧に覆われ、各地で猛暑日となるなど晴れて厳しい暑さが続きました。月平均気温は全国的にかなり高く、北・東・西日本では、1946年の地域平均の統計開始以来第1位の高温となり、全国の77地点で8月の月平均気温の高い記録を更新しました。

平成21年8月は、月を通じて太平洋高気圧の本州付近への張り出しが弱かったため、北日本と東日本、西日本の日本海側では日照時間が少なく、気温は、北日本ではほぼ平年を下回り、また東日本と西日本では平年並みとなる一方、沖縄・奄美では、太平洋高気圧に覆われたため晴れて気温の高い日が多い状況にありました。

（気象庁「8月の天候」より）

2 ポイント

(1) 総数

平成23年8月の全国における熱中症による救急搬送人員は17,566人でした。これは、平成22年8月の熱中症による救急搬送人員28,448人の0.62倍、平成21年8月の熱中症による救急搬送人員6,495人の2.70倍となっています。（集計1、集計2、集計3参照）

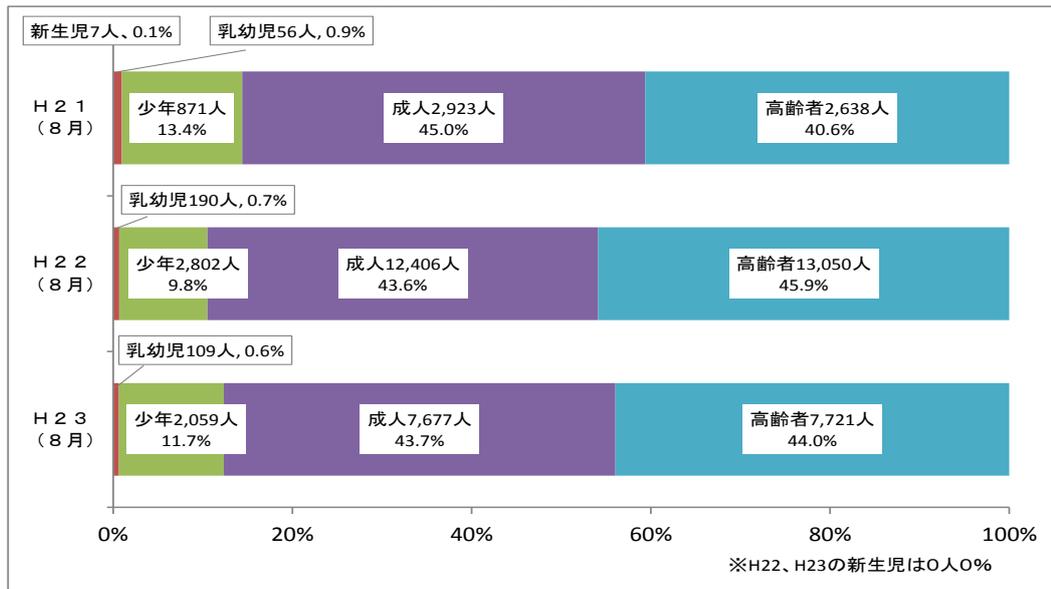
(2) 内訳

- ① 熱中症による救急搬送人員の年齢区分をみると、高齢者（65歳以上）が7,721人（44.0%）と最も多く、次いで成人（18歳以上65歳未満）7,677人（43.7%）、少年（7歳以上18歳未満）2,059人（11.7%）、乳幼児（生後28日以上7歳未満）109人（0.6%）の順となっています。（集計1参照）

平成22年8月と比較すると、高齢者の構成比が1.9ポイント減少する一方で、成人と少年の構成比はそれぞれ0.1ポイントと1.9ポイント増加しています。

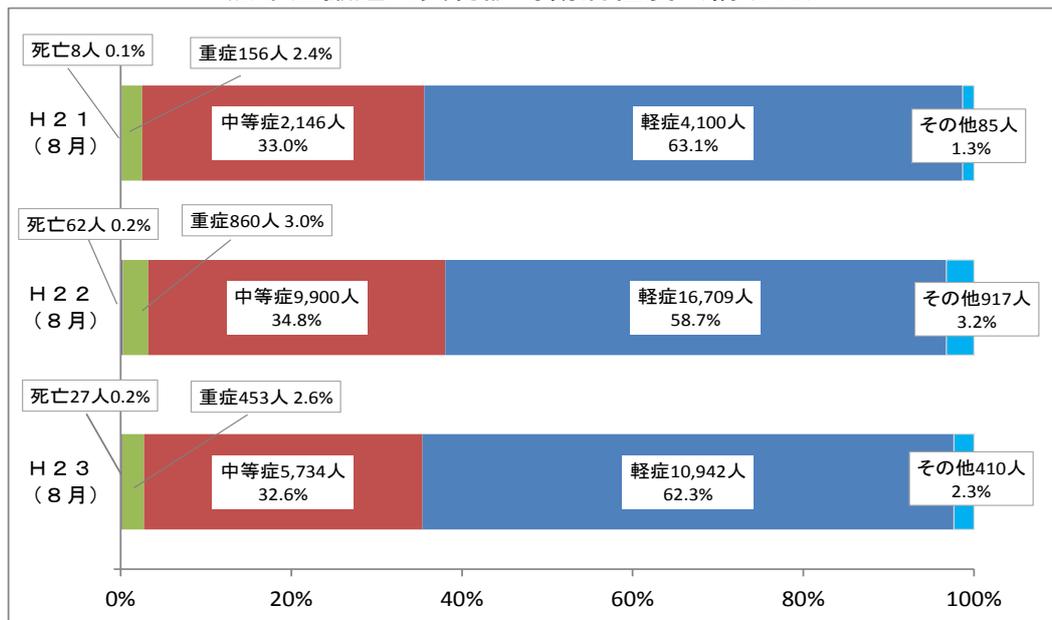
平成21年8月との比較では、成人と少年の構成比がそれぞれ1.3ポイントと1.7ポイント減少しており、高齢者の構成比は3.4ポイント増加しています。

熱中症搬送人員年齢区分（構成比）



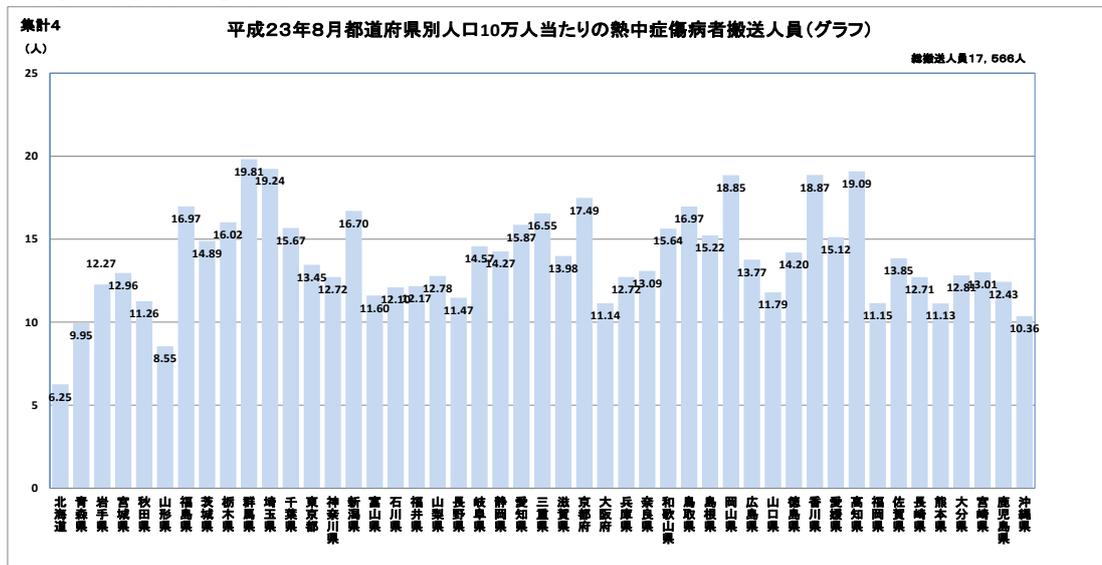
- ② 熱中症により搬送された医療機関での初診時における傷病程度をみると、軽症が最も多く 10,942 人（62.3%）、次いで中等症 5,734 人（32.6%）、重症 453 人（2.6%）、死亡 27 人（0.2%）の順となっています。（集計1参照）
- 平成 22 年 8 月と比較し、中等症以上の構成比が減少しており、軽症の構成比は 3.6 ポイント増加しています。
- 平成 21 年 8 月との構成比の比較では、軽症では 0.8 ポイント減少していますが、ほぼ同様となっています。

熱中症搬送人員初診時傷病程度（構成比）

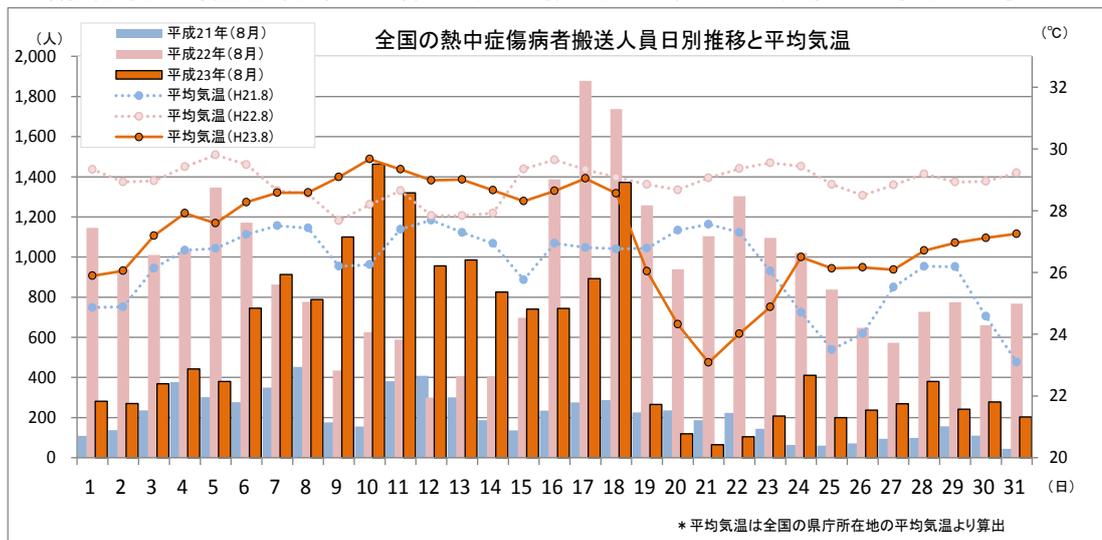


- ※ 軽 症：入院を必要としないもの
 中等症：重症または軽症以外のもの
 重 症：3週間の入院加療を必要とするもの以上
 死 亡：医師の初診時に死亡が確認されたもの

- ③ 都道府県別人口 10 万人当たりの熱中症搬送人員は、群馬県が最も多く 19.81 人であり、次いで埼玉県 19.24 人、高知県 19.09 人の順となっています。（集計 4 参照）



- ④ 熱中症傷病者搬送人員と平均気温の関係では、平均気温が上昇すると熱中症傷病者の搬送者数も増加する傾向にあります。（集計 6 参照）



3 その他

- ・ 熱中症を予防するには、暑さを避け、こまめに水分を補給し、急に暑くなる日には注意することなどが必要です。また、高齢者は温度に対する皮膚の感受性が低下し、暑さを自覚できにくくなるので、屋内においても熱中症になることがありますので注意が必要です。
- ・ 消防庁では、国民へ熱中症に対する注意を呼びかけるとともに、下記のHPで熱中症に関する情報及び毎週、熱中症による救急搬送状況の速報値を提供しています。

消防庁熱中症情報

http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_2.html